

市議会レポート 2018

～市民に開かれた議会を目指して！～



阪本 かつみ

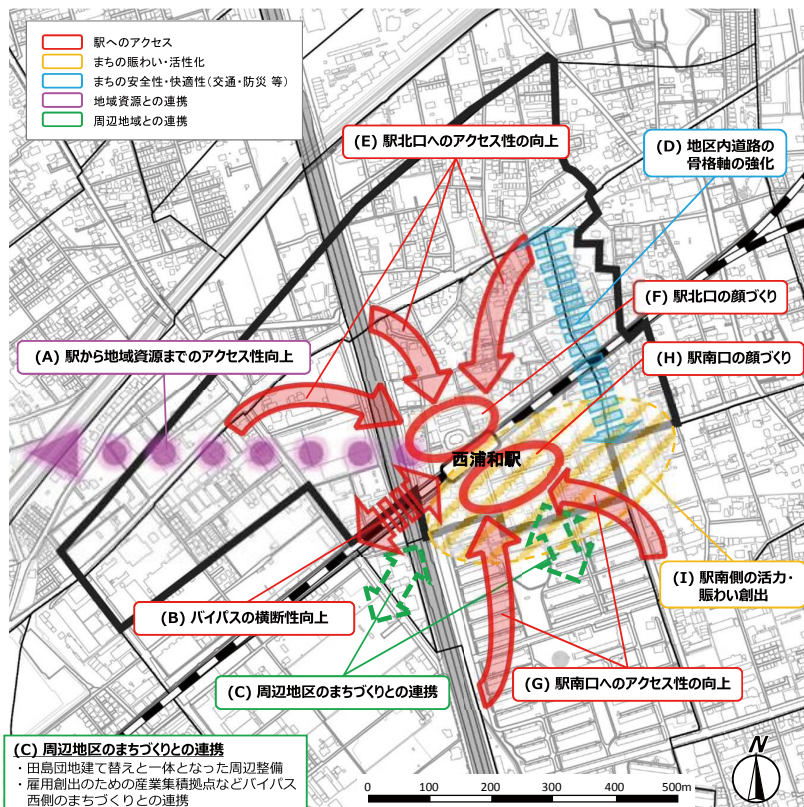
議会運営委員会 委員長
文教常任委員会 委員
大都市行財政将来ビジョン特別委員会 委員

西浦和駅周辺まちづくりビジョン（市民案）まとまる！

これまで西浦和駅東西地区まちづくり協議会では、西浦和駅周辺の将来のまちづくりの目標や姿、実現したいまちづくりの方向性などについて検討を進めてまいりました。

そして、近隣住民への説明、意見聴取を行ったうえで、「西浦和駅周辺まちづくりビジョン（市民案）」として取りまとめを行いました。

このビジョンには、道路ネットワークの充実と安全性等の向上、防災性の向上、バス機能の充実、地域資源を活かしたまちづくりなどが謳われています。今後、このビジョンを基にした各種取組みに向けた課題整理、調整等を行い、さいたま市としてのまちづくりビジョンの取りまとめを行います。



暴言を発した吉田一郎議員に対し懲罰を科し議員辞職勧告を決議しました！

2月20日の文教委員会で、思い通りの答弁が得られないことに激高し、答弁者に対して「首をつって死ぬ」と発言。市議会はこの問題を重視し、法的な拘束力を持つ「懲罰委員会」を設置し、出席停止処分を科しました。さらに、吉田一郎議員に対して、猛省を求めるとともに、自らの意思により道義的、政治的責任をとり、議員の職を辞することを勧告しました。



平成30年度予算が決定!

予算規模

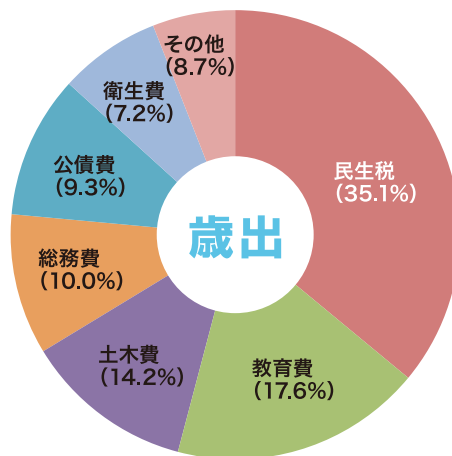
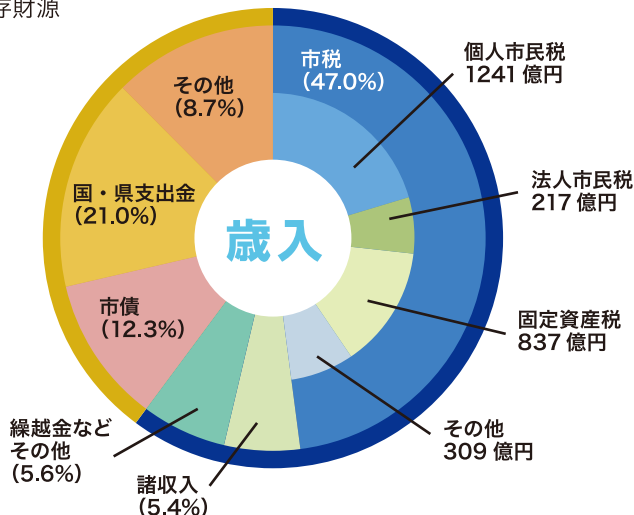
一般会計	5,545 億円	前年度比	244 億円	4.6%
特別会計	3,087 億円	前年度比	▲285 億円	▲8.5%
企業会計	1,306 億円	前年度比	82 億円	6.7%
全会計	9,938 億円	前年度比	41 億円	0.4%

※全会計予算総額は9,938億円となり、さいたま市誕生以来、最大の予算規模となります。



平成30年度一般会計予算

■ は自主財源
■ は依存財源



予算の特徴

- 次世代自動車・スマートエネルギー特区の継続や地域経済の活性化推進、学校施設の新設・更新、市有施設の維持補修など積極的な投資を行う予算
- 交通機能強化を図るとともに、真の東日本の中枢都市としての地位を確立するための予算
- 高齢者が健康で安心して生活できる環境を整えるとともに、出産・育児への支援、教育の充実など子どもたちが明るい未来を築くための少子高齢化に対応した予算

主な新規・拡大事業

難病の患者が安心して暮らしていける社会に

～指定難病患者への医療費の公費負担～

「難病の患者に対する医療等に関する法律」の大都市特例が施行されたことを受け、指定難病医療給付の支給認定及び医療費の公費負担を実施します。

住み慣れた家で健康に暮らすために

～在宅医療と介護の連携～

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、在宅医療と介護サービス事業の連携を推進します。

おもてなしあふれる東日本の顔を目指して

～大宮駅を中心とした都市づくり～

大宮駅周辺の都市基盤の整備を行い、土地・建物の高度化・防災性の向上等を図るなど、さいたま市の顔に相応しい地区として再構築します。

赤ちゃんとお母さんの心と体をケアします

～妊娠・出産から育児まで切れ目ない包括支援の充実～

出産間もない時期の産婦を対象とした産婦検診の助成を行います。また、産婦検診等で支援が必要と判断された産婦に対し、心身のケアや育児をサポートする産後ケア事業を実施します。

地域を支える安心で安定した医療の提供

～市立病院の建て替え整備～

「地域完結型医療の要」として、救命救急センターや緩和ケア病棟などの新たな機能を含めた施設を整備し、安心で安定した医療の提供と医療機能の充実及び強化を図ります。

さいたま市から世界へ飛躍するグローバル人材の育成

～大宮国際中等教育学校の整備～

市立大宮西高等学校のこれまでのグローバル化先進校としての取組を更に充実・発展させるため、県内初の中教育学校として、市立大宮国際中等教育学校を整備します。